第23号
発行日　平成２９年４月吉日(2017)
発行責任者　新潟産業大学校友会　小栗俊郎
編集　新潟産業大学校友会事務局
新潟県柏崎市軽井川4730番地
TEL0257-24-8444（直　通）
FAX0257-24-8444

学校法人 柏専学院・新潟産業大学 創立70周年を迎える

今後も、「地域おこし・人おこし」をめざして

◎新潟産業大学の設立経過等について

わが母校の新潟産業大学は、本年度創立70周年を迎えます。

70周年の起点は、昭和22年6月に遡ります。

同年6月2日、当時参議院議員下條恭平先生が柏崎専門学校を柏崎市に設立しました。

下條先生は、昭和20年終戦のとき「戦後日本の再建・発展と平和で幸福な社会の建設は、若い人材の育成に在り」という使命感と大望を抱いて柏崎専門学校を設立したのです。

昭和22年6月、第1回入学式があり経済科65名・被服科15名の合計80名で出発しました。その後、昭和25年3月に晴れの卒業式をむかえました。

第1回の卒業生から今日の新潟産業大学第26期卒業生まで、わが母校は1万人以上の卒業生が、全国各地および外国で活躍しています。

学校の名称は、過去改称されていますが創立当時から本年度までの卒業生は、仲間であり、同窓生であり、同期の仲間として絆があり結ばれています。

わが母校の歴史をひもといてみました。

- ●昭和22年6月　柏崎専門学校創立
- ●昭和25年4月　柏崎短期大学設立認可・開校
- ●昭和33年4月　新潟短期大学と改称　附属高等学校併設
- ●昭和37年10月　新潟短期大学安田校舎へ移転
- ●昭和62年12月　新潟産業大学設置認可
- ●昭和63年4月　新潟産業大学設立軽井川に校舎移転
- ●昭和63年4月　新潟産業大学開学
- ●平成6年4月　新潟産業大学人文学部開設
- ●平成9年10月　学園創立50周年・大学開学10周年記念式典
- ●平成16年4月　経済学部産業学科開設
- ●平成26年11月　柏崎市長に「新潟産業大学の公立大学法人化」要望書提出
- ●平成29年6月　創立70周年

文責・事務局
（短17期）内山和博

学校法人 柏専学院 理事、評議員

（校友会会員で理事、評議員の方）

理事	樋口　栄治	（短18期）
理事	星野　康夫	（大1期）
評議員	土田　茂	（短21期）
評議員	星野　康夫	（大1期）
評議員	高橋　和規	（大2期）
評議員	樋口　栄治	（短18期）

学長二期目にあたって

学長　北原保雄

校友会の皆様、日頃より本学に対しご支援をいただき、心より感謝申しあげます。

学長職1期4年を勤め終えましたが、さる平成29年2月8日の理事会において学長選考が行われ、引き続き2期目を任されることとなりました。

私の2期目の所信ですが、やると決めた以上、健康の許すかぎり全力を尽くして頑張ります。私は、本学を「地域の若者が入学したくなるような魅力のある大学」に発展させたいと考えています。それには、大きくは5つの方策が考えられます。

①公立大学法人化すること、②キャンパスを市街地に設置すること、③大学改革を断行すること、④強力な募金体制を作ること、⑤国際交流、留学生の受け入れを発展させること、この5つです。

①「公立大学法人化すること」は、本学喫緊の課題です。地元有識者の方々が、現在「意見広告」を出そうと準備をしてくださっていますし、地元市民に対する署名活動も計画しております。いずれにせよ、この課題は、新市長、市議会の賛同を得て、是非とも早期実現したいと考えています。公立大学法人化を目指す本学の活動経過の概略を別表に記しましたので、ご覧ください。

②「キャンパスを市街地に設置すること」は、学生にとって魅力のある大学になる大きな要件の1つです。学生を市の中央から離れた辺鄙な場所に隔離しておくのは、学生のためになりません。市の活性化にとってももったいないことです。駅前通り、本町通りに学生、若者が溢れていれば街が活気づき、消費も拡大します。これについては、その設置費用を最初から公費だけに頼るのは無理でしょうから、学納金（学生数）の拡大、「新潟産業大学基金」の増加などの自助努力により、徐々に進めていくことを考えています。

③「大学改革を断行すること」は、当然のことながら、最も重要な課題です。大学の管理運営体制の構築はかなり進みました。公立大学法人化後の新しい大学に向けて、地域のための大学作りをめざす教学の新体制を確立すべく、すでにその検討を始めているところです。公立大学法人化しても、本学がより魅力のある大学に変わらなければ、地域の人々、学生、ステークホルダーの皆さんの支持を得ることができません。

私は、4年間学長職にあり資金不足を痛感してきました。それは、収入の多くを学納金だけに頼っていたからです。資金がなければ何もできません。市の中心部にサブキャンパスを設置したい、現キャンパスの環境整備、美化を進めたい。そのためには資金が必要です。

④「強力な募金体制を作ること」については、「ふるさと納税」の中に「地元大学支援」を導入するなど新しいアイデアをもって、資金活動を一新したいと思っています。別途、「新潟産業大学基金」のご案内もさせていただいておりますので、是非、皆様のご協力をお願い致します。

⑤「国際交流、留学生の受け入れを発展させること」も、これまで以上に積極的に取り組みたいと考えています。今や国際化の時代です。地方の小規模大学といえども、国際化は重要です。その際、世界の多くの国々、地域との交流も大切ですが、一点豪華主義と申しますか、1つの国あるいは地域との交流、留学生の受け入れに特に重点を置き、小さな地方大学の特色を出すことを考えたいと思っています。

最後になりますが、平成29年、本学は創立70周年を迎えます。この記念すべき年に本学を発展させるための取組みを益々加速させてまいります。

校友会会員の皆様のご支援を心よりお願い申しあげる次第です。

公立大学法人化を目指す活動経過の概略	
平成26年１月	長岡造形大学を、本学教職員が訪問調査。
４月	「学長・副学長等会議」において、本学の公立大学法人化検討開始。
５月	柏崎市長と学長が会談。
７月	柏崎市長と学長が会談。
	文部科学省を訪問調査（学長、柏崎市長、本学教職員等）。
８月	総務省を訪問調査（学長、柏崎市長、本学教職員等）。
10月	柏崎市長と学長が会談。
11月	「産大の公立大学法人化について（要望）」を柏崎市長に提出
平成27年１月	本学の公立大学法人化の調査検討のために、柏崎市は企画政策課に担当者を配置。
６月	市議会総務委員会において、「柏崎市は産大の公立大学法人化も選択肢の一つであるとは認識しているが、それを直ちに受け入れると判断できる段階にはない」ただ、大学の魅力向上のため市民の理解を得ながら、これまで以上の支援を行うと表明。
７月	柏崎市の産大への補助金事業の検討会議「産大魅力向上検討会」設置。 平成27年度柏崎市私立大学学生募集支援補助金：630万円（産大への補助金）
平成28年３月	「新潟産業大学改革プラン（平成28年度～平成32年度）」と冊子『新潟産業大学の公立大学法人化に向けて』を柏崎市長に提出。
	平成28年度新潟産業大学魅力向上支援事業：２千万円（産大への補助金）
６月	市議会全員協議会開催。学長が「新潟産業大学の公立大学法人化の必要性」「市民の大学として、新潟産業大学を発展させること」について訴える。
７月～８月	市議会のすべての会派と無所属議員を、「学長・副学長等会議」のメンバーが巡回訪問。あらためて公立大学法人化の必要性を説明。
11月	柏崎市長選挙。櫻井雅浩氏が新市長として当選。選挙期間中、櫻井候補に公立大学法人化の必要性を訴える。
平成29年１月	柏崎市賀詞交換会にて、新市長はじめ市の有力者、有識者に本学の公立大学法人化に関しお願いした。
	市議会定例会の一般質問において、櫻井市長は、産大の公立大学法人化の要望について「平成29年度中に一定の方向性を出したい。」「市民と大学双方にプラスになることが重要であり、学部構成の見直しを含めて検討する。」と回答。
	櫻井市長が本学に来校。学長と懇談。

新潟産業大学基金のお願い

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。

寄付金は、地域高等教育の府として社会的責任を担う本学にとって、学費や補助金に次ぐ、第三の収入といえるものです。いただきましたご厚志は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学の教育理念の達成のために活用させていただきます。

何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。

募金要項

■**募金の金額**　一口　5,000円（複数口をいただければ幸いです。）

■**募金の払込方法**

同封の「青色の振込用紙」にご記入のうえ郵便局からお振込下さい。

■**寄付金控除について**

所得税の寄付金控除の措置を受けることができます。

■**寄付者名簿の公表について**

ホームページ、学報等で寄付者の御芳名を公表することに同意される方は、振込用紙通信欄にその旨チェックをお願い致します。

※ご不明の点は、新潟産業大学総務課まで。
総務課 TEL 0257-24-6655

《大学は美味しい!!》フェアに参加して

経済学部文化経済学科　副学長　梅比良 眞史

新潟産業大学は6年前から、新宿髙島屋で「大学は美味しい!!」というイヴェントに参加して、それから毎年、柏崎の特産品（産大コラボ）を展示、販売してきました。

この催しはもともと新潟県のNPOが始めたプロジェクトでした。そんな縁で産大にも声がかかり、「参加できません」というのも口惜しいので、青柳先生を先頭に水球部の学生を中心として、産大も髙島屋に2012年、初お目見えしたのでした。

以後、権田先生の指揮のもと、さまざまな困難を乗り越えながら毎年参加しています。販売する商品は、阿部ゼミの収穫した農薬を使わない米の入った「たな米」（新野屋「網代焼き」せんべいのヴァリエーション）を筆頭に、「縄文クッキー」（十日町コンテスト入賞作品）、高柳の青大豆を使った「フフ豆」（留学生がネーミング、「フフ」はモンゴル語で「青い」）、「青濤」（校友会の名を冠して、原酒造の純米酒をもとに学生が産大ラベル・ボトルを考案）などをラインナップしてきました。

「たな米」は単なるコラボ米菓ではなく、「風輪通貨」という地域通貨の原資としての米作りの副産物でもあります。「風輪通貨」は地域振興をモットーとする産大のひとつの試みとして、地域のお金を地域で回そうという画期的な実験なのです。

また新宿髙島屋での販売に参加する学生の働きぶりを見ていると、東京のデパートでの販売体験がいわばミニインターンシップとなっており、学生のこれから始まる人生の糧になることは間違いないと感じられます。「マーケティング」や「ビジネスマナー」などの座学をより深める場になっていることは明らかです。成長の場としての社会体験なのです。だからこそ、学生が移動や宿泊を交替交替でやりくりしながら、1週間にもわたる東京遠征をする意味があるのだと思います。

最後になりましたが、この事業に際し、校友会から物心両面の多大なご援助をいただいていることに、心より御礼申し上げます。

売り場に来て下さった卒業生のみなさまもたくさんいらっしゃいます。今年も5月18日から6日間、産大は新宿髙島屋に出店します。是非とも先輩方のご来店をお待ちしています。

「良寛と貞心尼の歌物語」クッキーができるまで

経済学部教授　金　光　林

新潟産業大学経済学部文化経済学科の金ゼミナールは、２０１４年十日町市ビジネスコンテストに参加したことがきっかけとなり、「縄文クッキーおうくんとかえんちゃん」の商品化を実現しました。その経験を活かし、２０１６年９月に「良寛と貞心尼の歌物語」クッキーの商品化を実現しました。

江戸後期に越後の地で生まれた、良寛と貞心尼の優れた歌物語を多くの人々に知ってもらいたいという思いから商品企画を始めたもので、新潟工科大学デジタルデザイン研究室の技術支援（てまりサブレの型の製作）、大手食品メーカー株式会社ブルボンと老舗和菓子店株式会社最上屋、柏崎社会福祉法人ロングランの協力を得て商品化しました。

商品は江戸時代の手毬をイメージしたてまりクッキーが特色をなし、それに消費者が好むチョコチップクッキー、バタークッキーを組み合わせています。

商品のイラストと漫画は本学の2年生が作画し、金ゼミナールの4年生3名がパッケージのデザインを行いました。パッケージの制作過程で本学の権田恭子講師が指導に加わりました。

商品は柏崎社会福祉法人ロングランの店舗、和菓子店最上屋の柏崎・長岡の店舗を始め、柏崎・長岡・出雲崎地域の道の駅、観光施設などで販売されています。昨年9月末からの発売開始から3ヶ月で１０００箱（個）を超える売り上げを達成しました。商品のパッケージの良寛と貞心尼の歌物語のイラストと漫画が今風で可愛いという評価を得ております。

金ゼミナールは、「縄文クッキーおうくんとかえんちゃん」クッキーをリニューアルし、この商品も人気商品にしたいと考えております。

金ゼミは縄文クッキーと良寛と貞心尼の歌物語クッキーを商品企画した実績によって第14回ＮＩＫＳ地域活性化大賞の奨励賞に選出されました。

平成28年度 新潟産業大学校友会本部青年部懇親会開催

【ゲスト：新潟産業大学経済学部准教授　蓮池　薫　先生】

本部青年部事務局長　海南　李江（大3期）

【全員で記念撮影】

平成28年11月５日（土）18：30から長岡の桜亭台町茶寮にて、「平成28年度新潟産業大学校友会懇親会」を開催しました。今年度は、ゲストに新潟産業大学経済学部准教授の蓮池薫先生をお迎えし、歓談形式での実施となりました。

蓮池先生からは、北朝鮮に拉致された当日の様子から、拉致せざるを得ない当時の北朝鮮の社会情勢や国際情勢など、この場だからこそ聞ける貴重なお話しがうかがえ、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。その後、それぞれ在学当時の話しや、卒業後の近況などを盛り込みながら自己紹介を行いました。自己紹介後は、自由形式での歓談会を設け、蓮池先生に自由に質問したり、ツーショットで写真撮影をしたりと笑顔の絶えない懇親会となりました。蓮池先生からも、今後も力になれることがあればいつでも声をかけてほしいと、心強いお言葉を頂戴し、約２時間半の会は、星野副部長の閉会の挨拶をもってあっという間にお開きとなりました。

「来年もまた会いましょう！」の合言葉で解散となりました。会員の皆さま、平成29年度も青年部はやりますよ！ご期待ください!!!

▼ 青年部 高橋部長 挨拶

▲蓮池准教授から
ご挨拶

自由に歓談▲

▲乾 杯

新潟産業大学に学ぶ学生達の活躍

２月４日（土）、柏崎市西山ふるさと館において「平成28年柏崎市体育協会優秀体育人Ｂ表彰式」が行われ、本学団体６組、個人７名の学生が受賞しました。

この表彰は、柏崎市体育協会が、優秀な競技実績をあげ柏崎地域の体育・スポーツの振興に功績のあった団体や個人に対し毎年行っているものです。

本学からは、「優秀競技者賞」に４団体、「競技者賞」に２団体・７名の学生が受賞し、ステージ上で賞状を授与されました。

優秀競技者賞

【水　球】

- **水球部男子**『第92回日本学生選手権水泳競技大会水球競技　３位』
- **水球部女子**（「柏崎アクアクラブ」に所属参加）『第92回日本選手権水泳競技水球競技　３位』

【ライフセービング】

- **佐々木勝馬（２年）、片山雄起（１年）**（「柏崎ライフセービングクラブ」に所属参加）『第29回全日本ライフセービングプール競技選手権大会男子４×25mマネキンリレー　７位』
- **髙橋志穂（３年）**（「柏崎ライフセービングクラブ」に所属参加）『第42回全日本ライフセービング選手権大会女子レスキューチューブレスキュー　７位』他

競 技 者 賞

【卓　球】

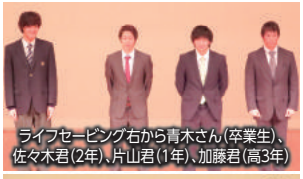
- **宮澤僚太（４年）**『第64回春季北信越学生卓球選手権大会男子シングルス　１位』
- **邱（キュウ）　文瑜（ブンユ）（３年）**『第28回夏季北信越学生卓球選手権大会女子シングルス　２位』
- **齋藤駿介（２年）**『第28回夏季北信越学生卓球選手権大会男子シングルス　１位』
- **高橋将和（４年）、宮澤僚太（４年）**『第64回春季北信越学生卓球選手権大会男子ダブルス１位』
- **卓球部男子**『第64回春季北信越学生卓球選手権大会男子団体　１位』
- **卓球部女子**『第64回春季北信越学生卓球選手権大会女子団体　３位』

【空手道】

- **岡本　桜（２年）**『第42回北信越学生空手道選手権大会女子個人組手　１位』
- **永井怜惟（２年）**『第42回北信越学生空手道選手権大会男子個人組手　１位』
- **錦織　奨（２年）**『第70回国民体育大会空手道競技新潟県予選会成年男子組手 軽量級１位』

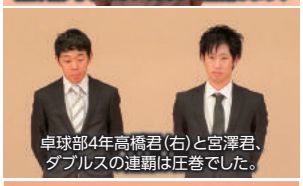
水球部3年大口博史君（左）と長岡拓見君、授賞おめでとう。

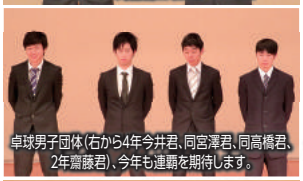
一昨年準V、昨年3位の男子水球部、今年はてっぺんを目指せ!


ライフセービング右から青木さん（卒業生）、佐々木君（2年）、片山君（1年）、加藤君（高3年）

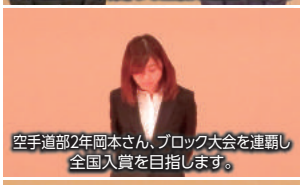
ライフセービング部3年髙橋さん（写真中央）、最終学年の今年、最高のパフォーマンスを目指します。

卓球部2年齋藤君、今年は部を牽引し団体個人共に更なる高みを目指します。


卓球部4年高橋君（右）と宮澤君、ダブルスの連覇は圧巻でした。


卓球男子団体（右から4年今井君、同宮澤君、同高橋君、2年齋藤君）、今年も連覇を期待します。

卓球女子団体（右から4年佐竹さん、2年加藤さん）、更なる上位を目指します。


空手道部2年岡本さん、ブロック大会を連覇し全国入賞を目指します。

空手道部部長2年錦織君、部を牽引し全国上位入賞を目指します。

空手道部の中心選手である2年永井君、今秋の公式大会幹事校として大いに貢献します。

新潟産業大学の就職状況(就職課資料より)

2016年度 就職行事 拝見

●メークアップ講座(平成28年11月)

●マナー･面接対策講座(平成28年11月)

●言語･非言語WEBテスト(平成28年12月)

●就職活動集中対策講座(平成28年12月)

●資格取得等奨励金授与式(平成29年1月)

●企業研究セミナー(平成29年2月)

●就職活動出陣式(平成29年2月)

就職内定状況

1月末日現在の内定状況は下表のとおりで、全体の内定率94.5%です。

経　済　学　部				
		男　子	女　子	合　計
今年度	内定率 (%)	95.3%	91.7%	94.5%
	内定者数	41	11	52
	上場企業内定率 (%)	15.4%	18.2%	16.0%
	上場企業内定者数	6	2	8
	就職希望率 (%)	97.7%	85.7%	94.8%
	就職希望者数	43	12	55
	卒業予定者	44	14	58

注1：外国人留学生を除く
注2：内定率 (%) ＝内定者数÷就職希望者数
注3：就職希望率 (%) ＝就職希望者数÷卒業予定者数
注4：上場企業内定率 (%) ＝上場企業内定者数÷{全内定者数－(公務員合格者数＋個人経営家業内定者数)}

新潟産業大学校友会の設立経過等について

わが母校の新潟産業大学の設立経過等をみてきました。

それでは、わが母校と一緒に歩んできました校友会はどんな歴史があるのでしょうか。毎年発行をしております「校友会報」により歴史をみていきたいと思います。

新潟産業大学校友会報（青濤会）は、創刊号が平成７年４月25日に発行されています。当時の内容をお知らせいたします。

平成７年４月　新潟産業大学校友会報（青濤会）
創刊号　発行

記事の内容は、次のとおりであります。

会長磯部氏の記事、学長金田氏の記事、大学の現状、校友会の現況、会員（寄稿者）の近況、事務局だより、当時の本部役員名簿が１ページ下段に載っていました。名簿の一覧表は

会　長	磯部卯之吉		
副会長	石塚　延栄	事務局長	高橋　　章
〃	西澤　裕明	事務局	苅部　光雄
〃	佐々木英一		
会計監事	加藤　　忍		
〃	土田　　茂		

他に、５支部の支部長名であります。

上記の本部役員の他に、学年幹事の氏名が記載されていました。

その後は、毎年４月に発行されておりますが、歴代会長・副会長・事務局長・会計監事の皆様のご苦労に対して敬意を表します。

内容も素晴らしく、支部設立の経緯等が理解でき、今日まで会報が毎年発行されて会員等の絆が生まれてきたと思っています。

第３号では、学園創立50周年の記念すべき年であり、会員からの寄稿記事、校友会の組織整備と各支部の活動内容であります。

現在、各会員から毎年納入されています「運営年会費」は、第４号の平成10年の会報で納入制度が説明されています。

この校友会報によって、過去の歴史、支部等の設立経過、各支部等の活動がはっきりと歴史に刻まれており、この歴史ある校友会報を今後も大切に、仲間達へのお知らせ版として、発展させていく努力が必要です。

そのためには、各支部の役員の皆様を始め、短期大学・産業大学の仲間がともに頑張っていくことが大切であります。

今後も、校友会の発展にご理解・ご協力をお願いいたします。

文責　事務局（短17期）内山和博

「越後の棚田とブナ」写真集

故　行田修造氏（短９期）の私への遺言

写真集が私の所へ送られてきたのは、平成27年（2015）12月末の事である。それから３ヵ月後、彼は78才の生涯を終えた。

あまりにも突然の訃報である。元中頸城板倉町立寺野小学校長を務めた。退職後は、柏崎市南鯖石コミュニティ振興協議会長も務めた。同年期の私とは、野球交流や授業交流をやった仲間である。

私へ送った一筆文は私にとって遺言となった。「年賀状を書いていて、小栗さんの所へ来た時、社会学者であられる小栗さんならいつか棚田がなくなる事、御理解下さると思い送らせていただきました」。中略

アマチュア写真家の実力者。マイカメラを手にしたのは小学生の頃と聞く。各種写真展にも何回も入賞されている。

「忘れまい貴男の熱い棚田への想いを　忘れまい貴方の残したブナ林や棚田への限りない愛を」。合掌

（短11期）小栗俊郎

支部だより

上越支部総会開催と講演会

上越支部長
野本　宏之（短15期）

前回の支部総会は平成25年7月でした。3年振りの支部総会を28年9月10日に開催しました。

会則上では2ヵ年ごとの開催なのですが、当該年度の本部総会との重複を避けました。

上越支部では総会の都度、タイムリーな「講演会」を持つことにしており、このたびは「上杉家と真田丸」と題して、日本の歴史並びに郷土史学者で地元居多神社宮司の花ケ前盛明氏を招へいしました。

事前に地元紙でPRして一般の方々にも参加を呼び掛けました。

来賓の秋山学長補佐・小栗校友会長・石塚校友会顧問をはじめ支部同窓生と若干の一般の方々総勢50余名の会となりました。

さて、今回の支部総会でのねらいは、何と言っても青年部組織を支部の中枢に位置付けることの意義を担った総会でした。そしてそれなりの役員改選構成が出来あがりました。

上越支部の強さは昭和36年から6年間の上越教室夜間部を巣立った同窓諸兄が地域でそれぞれ活躍しており、異業種の面々が産大支部校友会の場で貴重な交流が成り立っていることです。今後はこれに加えて、青年部諸君の積極的な活躍に期待するところです。

支部顧問に就いて頂いた松苗前支部長におかれては、元佐藤支部長の後を引き継がれ、校友会に上越支部有りとご活躍頂き、ありがとうございました。

今後ともご指導くださいますようにお願い致します。

尚、本年度は支部総会終了後、一般市民も対象にしました講演会が開催されております。また、司会者は青年部の風間さんが行い、多いに盛会でありました。

内容は、昨年放送されました大河ドラマ「真田丸」に関係しました真田一族と上杉景勝関係であります。真田信繁は人質として上杉家に仕えた。その後、真田兄弟は東軍（信之）と西軍（信繁）が敵・味方に分かれて戦いますが、信繁は徳川家康の本陣に突入して壮絶な戦いで討ち死にします。しかし、信之が東軍であり勝利したので、後に松代城の城主となり真田家は幕末までのこります。兄の信之は弟信繁のことを褒めております。

以上概要ですが、講演会内容を紹介いたしました。

関東支部総会開催

関東支部長
臼杵　信雄（大1期）

平成28年度から関東支部長になりました臼杵（うすき）と申します。

平成28年6月26日に、東京・上野の新潟県人会館で開催された関東支部総会で、支部長職を拝命させていただきました。関東会員数720名の組織の舵取りを行う代表者として身の引き締まる思いを感じておりますが、頑張って参りたいと思います。他支部も同様かと思いますが、産大卒会員の本部、支部主催の行事の参

加率が低調なため、参加したくなるような、また参加しやすい行事の創設を検討したいと考えております。例えとして、毎年5月に東京・新宿タカシマヤで開催される「大学はおいしいフェア」で、現役生が、柏崎のおせんべいやお酒を販売するブースがあるのですが、その時期にあわせて、支部会議の開催と激励を兼ねてブースを訪問することもできたらと思っております。また、柏崎専門学校卒業生、新潟短期大学卒業生、新潟産業大学卒業生の共通のふるさとである柏崎に、マイクロバスをチャーターし、柏崎の名所、現在の学校を見学し、夜は、じょんのび村で温泉宴会などが開けたら、卒業生同士の交流が深まるとともに、微力ではありますが、柏崎への経済貢献に繋がればと思っております。

魚沼支部総会開催

魚沼支部長
渡辺　勲（短18期）

6月26日に本年度の支部総会を魚沼市大湯温泉で開催しました。本部より事務局長・内山和博様、青年部事務局長・海南李江様からご臨席いただきました。

また、ご来賓として、前本部事務局長・片桐健三様、新潟支部長・北村稔様、長岡支部長・樋口栄治様、柏刈支部長・細山光夫様からご臨席を賜わりました。

協議においては、支部総会への出席者をどのようにして増やしていったら良いのか、特に、青年部員の出席や交流の活性化などについて、熱心に話し合いました。魚沼支部青年部の設立が検討されました。

第二部の懇親会では、出席者15名全員から自己紹介をかねて発言していただきました。

椛沢英夫氏からは、大学の公立化実現のためには、同窓会の結束が重要であること、片桐健三氏から、公立化の問題はみんなが心配しているが、今一歩の行動が起きていないこと、五十嵐伊三郎氏から、校友会も大いに応援して公立化を実現していこうではないか、などのご発言があり、大変有意義な支部総会を行うことができました。

妙高支部総会開催

妙高支部長
瀬戸　満雄（短13期）

妙高支部が発足して11年。第6回の定期総会が、9月4日に矢代ふれあいの里「友楽里館（ゆらりかん）」で開催されました。

当日は気温34度の残暑の中、大学から秋山学長補佐、校友会本部より小栗会長、内山事務局長を初め役職員の方々と、他支部の支部長様など多数の来賓のご参会をいただき、総勢18名でこれまでで最多数の総会となり、大きな喜びでした。

今回、初めて総会の案内に出欠席の返信用ハガキの同封を試みましたが、返信率43％、うち大卒は17％で今後の課題を抱えることになりました。

2年に1回の総会に、ぜひ出席いただきたいと強く念じています。

議題のうち役員改選では、私が第2代の支部長に選任されました。今後ともよろしくお願いいたします。また、事務局長と青年部長には大卒会員の就任が得られ、心強くなりました。今後、初めてとなる役員会を開く計画をしています。役員の連携を深め、会員との結びつきの強化を図っていければと願っています。

佐渡支部総会開催

佐渡支部長
濱田　毅（短18期）

10月1日（土）、旅館「いせや」を会場に支部定期総会を開催した。佐渡支部創設六回を数える今回の総会は、本部より来賓として、小栗会長様・内山事務局長様にお出でいただいた。また、前日に海外から帰宅したばかりだという、渡邊県央支部長様も駆けつけてくださった。

それぞれにお忙しい中、遠路遙々お出でくださった皆様方に心からお礼を申し上げたい。

総会の席上では小栗会長様・内山事務局長様からは校友会本部の現状や、佐渡支部運営への温かいご助言・激励をいただいた。小栗会長様の「もう短大の時代ではない。世代交代を」と言われた言葉。内山事務局長様の「支部あっての本部である。一体となってやっていきたい。」との言葉が強く心に響いた。

渡邊県央支部長様の乾杯で始まった懇親会は、佐渡の美酒に浸りながら、膝を交えて和やかに親睦を深めることが出来た。

残念ながら、参加者の顔ぶれが固定化しつつあるが、私を除いて他は大卒の面々である。着実な世代交代に向け、次回こそは、大卒の会員の参加者を増やすよう働き掛けていきたい。

支部総会に出席して

柏崎刈羽支部長
細山　光夫（大1期）

7月30日、新潟産業大学において、柏崎刈羽支部の総会を行いました。この会議において2点の提案をさせていただき了承を得ることができました。詳細は以下のとおりです。

1、当支部の総会を2年に1回、実施するよう調整したこと。平成29年度から他の支部と同様、支部総会を2年に1回の開催とします。総会のない年は常任幹事会を開催する。2、役員交代をお願いしました。（新規役員6名、9名の役員方々のご勇退）

現在、大学では、「公立大学法人化」について、議論されております。柏崎市当局の方針が、一時保留とされておりましたが、昨年12月に新市長となり『新潟産業大学の公立大学法人化の問題については、2017（平成29）年度中に、一定の方向を出す。そのための検討を進める。』とされています。地元の支部として、大学存続のためにいい結論がされるように、校友会本部とも協力していく所存です。今後とも支部内会員方々様のご協力をよろしくお願いいたします。

運営年会費の納入御礼とお願い

校友会員の大勢の皆様から、運営年会費を納入して頂きありがとうございました。みなさんの暖かい気持ちに支えられていることに改めて感謝し、厚く御礼申し上げます。

ご承知のように、運営年会費は校友会報の発行費用や各支部の運営補助金など活動資金の支援費として使用されております。また、会報も内容を更に充実させ、皆様から愛される校友会報にしたいものと頑張っております。

諸事ご都合もおありかと思いますが、是非とも、このような趣旨をご理解頂きご協力よろしくお願い申し上げます。

同級会たより

「第10回新潟産業大学16会」同級会開催

北村　稔

9月1日（木）「第10回新潟産業大学16会」同級会を長岡市内で開催しました。

当日は残暑の中、遠くは新潟市、見附市そして地元長岡の13名が参加しました。

2年ぶりの開催とあって、懐かしさと和やかな雰囲気の中、会話と笑いにつつまれました。

同級生からは病気の話、趣味の話、将来の話しなど「動くと疲れるし体がついてこねって」「男は卒業したな」「今は何にもしてないヒマだこっつぁ」等々の会話が交わされました。

70歳を超えて未だ仕事を継続している会長・社長が5人も居ました。

次回は「コンパを呼ぼう」と掛け声はするけれど、いつも酒が入った時だけで毎回、まぼろしに終わっている。いつ実現するやら……。

残念ながら過去10年間に一度も参加しない8名の方は次回から対象からはずすことに決まりました。

次回は「1万円くらいで長岡以外でやろう」とか「泊りで行こう」「温泉でやろう」と威勢のいい声が飛び交う中、再会を誓い解散しました。

これからも元気に

増井　建

十九期の有志で始めた親睦会（たまに研修も）も早いもので八年目を終えようとしている。

全員が定年退職した平成21年秋、月岡温泉で再会を果たしたのがスタートだった。その後、一年交代制の幹事が決定した場所へ参集し親睦を深めてきた。ちなみに月岡以降は松之山、六日町、弥彦、柏崎、阿賀、松代、湯沢と県内を巡った。各地の名所・旧跡を訪ねたり母校を見学させてもらったりもした。

四人でスタートしたメンバーも少しずつ増え現在は八～十人というところである。学生時代のサークル活動でお世話になった先輩にも打診し快く出席いただいている。

日程はというと、特別な計画がない限り夕方4時ころ現地集合となる。翌日の予定は宴会時の話し合いで決まる。歴史的建造物、古城跡、景勝地等々、県内にはまだたくさんの見どころありを実感する。

今年度は紅葉が盛りをむかえた妙高市の関温泉に宿をとった。近づくにつれ妙高山の偉容に圧倒される。

皆元気に参集できたことを喜び合い、先ずはお風呂となる。宴会は一次会、二次会と日付が変わるころまで続くがそれでも足りないくらいだ。

翌朝深い霧の中、再会を約して車中の人となる。

短39回 第3回同級会開催と短大発見！

高山（金子）正英（短39期）

7月9日、柏崎市文化会館アルフォーレで開催しました。一次会・二次会あわせて25名の参加で遠くは東京、宮城、群馬、長野、富山から駆けつけて頂きました。来賓として当時私達生徒に、兄弟のように接して頂いた事務局の内山様をお迎えしました。会場は、懐かしい顔と今昔話に花が咲き学生に戻った楽しいひとときでした。

思い出の柏崎市の各所をビデオ上映しました。事前に幹事で、えんま市の東本町、日本海フィッシャーマンズケープ、中央海岸、白竜テニスコート、ＪＲ安田駅、新潟産業大学、新潟産業大学附属高校、欠席者のビデオレターを撮影しました。撮影する前から新潟短大の校舎は無くなったと思っていました。産大附属高校の中に、突然、短大の講堂校舎が現れて胸が熱くなり涙目になりました。ほかに、蒲鉾型体育館、グラウンド、池のモニュメント、学生時代の学びの場所に逢えて本当に嬉しく思いました。

急な校内の見学撮影のお願いを快くご理解して頂いた事務局様に感謝いたします。

今回、短39回卒業生のラングループを立上げました。立上げの切っ掛けは、同級会に参加できない方から同級会・同級生の写真を見ると元気が出ますという声から始まりました。ラインは、個々が見つけた情報（産大、附属高校、柏崎等）、趣味、食物、故郷の話等、みんな繋がって広がれば良いなあと思います。

次回の同級会には、多くの人にお会いできることを期待しております。

新潟産業大学・校友会様、新潟産業大学附属高校様の更なるご発展をお祈りいたします。

事務局だより

本年度、わが母校新潟産業大学は創立70周年を迎えます。

昭和22年に創立されて数々の歴史を作りながら70年の歴史ある年を迎えました。まことにおめでとうございます。

さて、昨年平成28年度は13支部の中、6支部で定期総会が6月から10月にかけて開催されました。大きな特色として役員改選が実施され役員の若返りがあります。

今後は、若い役員の基で支部活動が充実するのが期待されます。

定期総会を開催しない支部では、次期支部総会に備え、今後の活動方針等を協議すべく役員会・幹事会を開催し会員等の絆・情報・活動等の協議を行っております。

平成28年度の動き

◇本部定期役員会　5月21日（土）
柏崎市・産業文化会館
事業報告・収支決算および事業計画・収支予算を審議承認・新役員報告と紹介

◇支部長・事務局長会議　10月17日（土）長岡市・アトリウム長岡
他支部の状況・定期大会の報告・運営年会費の納入状況等の報告および情報交換

◇新年度事業計画・および予算会議
3月　柏崎市

◇各支部総会の開催日は次のとおりです

関東支部　6月26日（日）
東京都内・東京新潟県人会館

魚沼支部　6月26日（日）
魚沼市・大湯温泉・友家ホテル

柏崎刈羽支部　7月30日（土）
柏崎市・新潟産業大学

妙高支部　9月4日（日）
妙高市・矢代ふれあいの里
友楽会館

上越支部　9月10日（土）
（講演会併催）
上越市・直江津学びの交流館

佐渡支部　10月1日（土）
佐渡市・いせや

青年部
7月16日　役員会
11月5日　役員懇親会　長岡市
講演会開催
「講師　新潟産業大学准教授　蓮池　薫　様」

29年2月4日　三役会議

◇各支部役員会・幹事会の開催日は次のとおりです。

新潟支部　12月17日　新潟市
新潟県央支部　11月12日　三条市
長岡支部　8月10日　長岡市
柏崎刈羽支部　7月7日　柏崎市
上越支部　7月13日　上越市
妙高支部　11月12日　妙高市
関東支部　6月4日　東京都内
長野支部　11月26日　長野市
飯豊支部・北陸支部・東海支部は、適宜三役会議を開催しています。

◇同期の会開催は次のとおりです。

新潟産大16会　9月　長岡市
新潟短大第19期会　10月　妙高市
新潟短大第39期会　7月　柏崎市
久味山会　10月　柏崎市

平成29年度予定される動き

◇本部定期役員会
6月17日　柏崎市

◇青年部役員会　7月　柏崎市

◇支部長・事務局長会議
10月上旬　長岡市

◇本部講演会　11月4日　新潟市
「講師　前宮崎県知事　東国原英夫　様」

◇各支部総会の開催予定は次のとおりです。

飯豊支部　7月　新発田市
新潟支部　7月15日　新潟市
新潟県央支部　9月　三条市
長岡支部　9月　長岡市
北陸支部　5月　富山市
長野支部　11月　長野市
東海支部　11月　名古屋市

予定されている会合がありましたら本部事務局までご連絡下さい。

◇本部事務局開局日：月、火、木、金の各曜日　10時～15時まで

〒945-1393
柏崎市軽井川4730
新潟産業大学校友会事務局
TEL 0257-24-8444（直通）
FAX 0257-24-8444
E-mail：seitou_h@vis.nsu.ac.jp

編集後記

平成29年度は、わが母校創立70周年の年であります。大学と校友会が連携を強化して、悲願であります「公立化」を目指して頑張りたいと思います。

各支部はもちろん青年部と情報を共有化して実りある年にいたしましょう。

内山和博（短17期）